

いろいろなことに挑戦でき、
自身を成長させられる場所。



高嶋礼実さん(1999年生まれ)

知立高校 出身
愛知学院大学 総合政策学部卒業

愛知県警察本部

名古屋市中区三の丸 2-1-1
<https://www.pref.aichi.jp/police/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校を卒業→大学へ進学→警察官採用試験に合格→警察学校に入校→交番勤務を経験→交通課に配属

——学生時代

「高校時代は、友達と趣味のソフトテニスを楽しんでいました。体を動かすことが好きでしたね。当時の私は、まだ将来のビジョンが明確にもっていない状態だったので、大学で興味ももてるものを見つけたと思います、様々な分野を学べる愛知学院大学総合政策学部に進学しました。」

「大学時代について教えてください。」
「法律、心理学、宗教学など幅広い分野を学びました。地域の課題を改善するためにはどういうアプローチが効果的かを考える講義が多く、自分で考える力が身についたと思います。私は、1年次から公務員試験対策講座を受講し、3年次に警察官を目指すことを決意しました。講座では、過去問や例題集を解くだけでなく、つまずきやすいところを講師の方が解説してくれたので心強かったです。大学のキャリアアセンターでも、面接対策などをしてもらいました。」

——仕事について

「警察学校に入り、まず集団行動の大切さを学びました。柔道・剣道や逮捕術など術科の授業を通して体力面も鍛えられました。心が折れそうになることもありましたが、寮の仲間と励まし合って乗り越えることができました。やっぱり仲間の存在は大きいですね。精神的にも強くなったと思います。」

最初の配属先は?

「2年間、交番で勤務をしました。交番の警察官は、交通事故が発生する



と現場に最初に駆けつけるだけでなく、地域のトラブル対応や職務質問、交通取締りなど、対応する事件・事故は多岐にわたります。交番勤務を通して「私が地域を守っている」という意識が芽生えました。現在は警察署の交通課で働いています。」

「仕事内容を簡単に教えてください。」
「パトカーで巡回し、シートベルト未着用やスピード違反、飲酒運転などの交通違反の取締りを行います。ただ違反を取り締まるのではなく、県民の皆さまの安心安全で快適な交通社会を守るために、ドライバーの方には「事故が多いので気をつけてください」といった声をかけたり、交通安全意識の向上につながるよう心がけています。」

——やりがい

「対応した方からの『ありがとう』が嬉しいです」という感謝の言葉がやりがいです。子どもから『大人になったら警察官になりたいです!』という声をかけられたときは特に仕事に誇りを感じます。警察は、生活安全課や刑事課など様々な部門に分かれており、いろいろなことに挑戦できるので、自身を成長させられる職業だと思っています。」

——メッセージ

「私は、公務員試験対策講座で警察官採用試験の対策をしました。独学で取り組むと手探りになってしまったので、講座を受講したことで効率的に対策ができたと思います。また、OBOGから話を聞く機会もあり、実際の仕事内容なども知ることができました。同じ目標をもった仲間が存在も大きく、最後まで挫けず勉強に取り組むことができました。一生懸命取り組んだ経験は、絶対に無駄にならないので、高校時代は夢中になれることを見つけて取り組んでください。」

ありがとうございます。



18歳 幅広い分野を学びたいと思い、愛知学院大学総合政策学部へ進学。

22歳 公務員試験対策講座を受ける中で、警察官を志す。

23歳 日々の仕事を通し、市民の安心安全な生活を守る。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

